

科目名	建築計画Ⅲ	英語科目名	Architectural PlanningⅢ
開講年度・学期	平成 28 年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科 5 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	学修単位(講義 A)
担当教員	(非常勤)羽鳥芳之	居室(もしくは所属)	担当大島:建築棟 2 階デザインスタジオ
電話	担当大島、内線 844	E-mail	担当大島、o-shima@小山高専ドメイン
授業の到達目標		授業達成目標との対応	
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE) JABEE 基準
1. 建築に対する理解を深め、建築の魅力を再認識する		③ ④○	A AO d-1 g
2. 建築と社会との接点を見出し建物を評価できる能力を身につける。		③ ④○	A AO d-1 g
3. 発表会を通じて適切なプレゼンテーションができる。		③ ④○	A AO d-1 g
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標 1～3. において、課題提出状況とその内容、また口頭発表の内容を設定水準で評価する。総合的に評価し60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
評価は以下の2項目の加重評価によって行う。 1. 提出課題の評価(70%)・中間試験の結果も含む。 2. プレゼンテーション能力(30%)			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. 多様化する住宅についての分析(一般解と特殊解についての考察等) (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理(2週) (2) 発表(1週)	1. 集合住宅に関する資料収集、法規的分析等に関する課題		12
2. 人にやさしい集合住宅(家族の多様化、高齢化等) (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理(2週) (2) 発表(1週)	2. コミュニティセンターに関する資料収集、法規的分析等に関する課題		12
中間試験(住戸プランについて)	適正なプランニング能力の評価		
3. コミュニティセンター(地域で育てる文化) (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理(2週) (2) 発表(1週)	2. コミュニティセンターに関する資料収集、法規的分析等に関する課題		12
4. 秀れた地区計画の事例の収集 (1) 課題の分析、資料収集、与条件の整理(2週) (2) 発表(1週)	4. 秀れた地区計画の事例に関する資料収集、法規的分析等に関する課題		12
5. レポート作成・発表(3週)	5. レポート作成・発表準備		12
自学自習時間合計			60
キーワード	建築の評価、法規、規模、用途、プレゼンテーション		
教科書	特になし。必要に応じ、随時プリント等配布。		
参考書	各種建築雑誌、建築設計資料集成(日本建築学会)、その他地域施設関係出版物多数有。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築計画 IA,IB、建築計画 II、建築設計 IA,IB、建築設計 IIA,IIB		
現学年の関連科目	建築法規		
次年度以降の関連科目	居住地計画論、地域施設計画論		
連絡事項			
社会との関わりの中で、建築というフィルターを通して、現代社会の抱える問題や将来像を探ることで、建築を単にデザインや工学の学問に縛られない広い視野と物事の本質を見抜く力を身につけることが重要である。また、環境問題や少子高齢化など、今後予想される諸事象に触れることで今後の設計計画に取り組んでいく心構えと過程を経験させるものである。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 3 月 10 日		